

PUBLIC RELATIONS MAGAZINE



も い わ 531



医療法人徳洲会 札幌外科記念病院



MOIWA531

特集 矢花 剛 先生インタビュー

p3・消化器内科 内科紹介

p3・看護部ごあいさつ

Vol. **3**

2025 年

春 号

広報誌

矢花 剛 先生

インタビュー

Special interview

今回は当院に長く勤められている、
矢花 剛先生にお話を伺いました。



中川: 本日はお忙しい中お時間を割いて頂き、大変ありがとうございます。早速ですが、先生の生まれと出身校を教えてください。

矢花先生: 私は旭川出身です。今年で83歳になります。札幌南高校を卒業して昭和36年に札幌医科大学に入りました。あのね、私の経歴は全部これに書いてあるから…(「わたしの研究歴 矢花 剛」と書かれた小冊子をスッと出される)。

中川: あ！これは有難いです。拝見させていただきます！えっと、先生のご専門と、そのきっかけについて教えてくださいませんか？

矢花先生: 消化器内科です。大学卒業後に、恩師である札幌医科大学第1内科の和田武雄教授から誘いがありまして、「私と一緒に勉強をしましょう」と言われてね。私も「一緒に勉強」という言葉に感激して、同大学大学院に入ることを決めました。



中川: 教授からそのような言われたら嬉しいですね！

「私の研究歴 矢花 剛」を拝読。

大学院時代から、消化器に関する研究にどっぷりと浸かり、実験に明け暮れた日々、国内外での学会発表・講演等、ハーバード大学留学、その分野での研究をリードする輝かしい活躍が記されておりました。

中川: 当院との繋がりについて教えてくださいませんか？

矢花先生: 平成21年に、当時の理事長の故山本直也先生に誘われて、この病院に名誉院長として入職しました。その2年後の東日本大震災の年はね、私にとっても試練の年でした。4月に偶然、左腎細胞癌が見つかって、母校で内視鏡的切除術を受けました。その半年後の10月、左前腕腫瘍が再発して、左腕完全喪失を意味する左肩関節離断術を母校で受けました。「平静の心」①と「鈍感力」②という二つの言葉で、この試練を乗り切ったと思っています。

中川: 自分が同じ立場だったら…、乗り切れる気がしませんね。今日は貴重なお話を聞かせて頂いて、大変ありがとうございました。

①「平静の心」(William Osler 博士, 1889)

ウィリアム・オスラー博士が医学部卒業生へ贈られた言葉。医師は、どんな時も平静さを保ち、重大な危機に直面した際も、冷静に判断を下さなければならない。

②「鈍感力」(渡辺淳一博士, 2007; 札幌医科大学 5 期・整形外科、第 63 回直木賞受賞)

医師としての経験や作家としての眼を通し、いい意味での鈍感力は、まさしく本来の才能を大きく育み、花咲かせる最大の力としたエッセイ集。

田中医師と矢花医師は札幌医科大学卒業後、第一内科(現消化器内科学講座)に所属し、消化器の病気(消化管、胆道・膵臓、肝臓など)を専門にしながら、他の内科の病気(高血圧、糖尿病、脂質異常症など)を幅広く診ています。例えば、お腹が痛いといってもいろんな病気があります。当院では、CT、超音波、内視鏡、超音波内視鏡、カプセル内視鏡などの機器を使いながら病気(原因)を見つけていきます。特に内視鏡検査を大事にしています。楽に内視鏡検査ができるように、細い鼻からの内視鏡スコープを新しくしました。拡大内視鏡を用いて消化管粘膜の血管や模様を強調して観察することで診断能の向上に努めています。また、超音波内視鏡も新しいのに更新して、早期の慢性膵炎・膵臓癌や胆道癌の発見、胆石・総胆管結石や胆嚢の精査を行っています。CT、X線テレビ装置も新しい機種に更新予定です。検査で見つかったポリープや早期の腫瘍、消化管出血、総胆管結石はスタッフと一緒に内視鏡治療をおこなっています。手術など外科

治療が必要な時は、当院消化器外科で対応しています。今はまだ、規模は小さいですが、今後は消化器病センターとして充実していくよう尽力してまいります。

消化器の病気だけでなく、内科全般の病気についても常に研鑽を積んでアップデートしています。より専門的精査・治療が必要な時は、高次病院に紹介しています。藻岩山の四季の移り変わりに癒されながら、皆様の生活スタイルや希望に寄り添った治療をおこなっていきたくと思っています。

令和7年3月2日 文責 田中克典



【看護部の理念】

地域の皆さまに“心に届く看護”を実践します

【看護部の基本方針】

看護理念に基づき、倫理観をもって全人的看護を実践します

看護専門職として自覚と責任を持ち、知識と技術の向上を目指します

患者さんの声を聴き、安心できる看護を提供します

【看護部長 ごあいさつ】

よろしくお願いいたします。

札幌外科記念病院は、令和6年2月から医療法人徳洲会に仲間入りをしました。私は、2年目のスタートとなる今年2月1日付けで、看護部長に就任いたしました。

これからも、職員一人一人が専門職として意

識と責任を高く持ち、患者さんにやさしく寄り添い、看護部の理念である“心に届く看護”の実践をすすめてまいります。

そして、地域の方々や職員・家族みんなが「この病院に来てよかった」と安心していただけるような病院を目指し、職員一同努力してまいります。

看護部長 伊藤 志乃



外来診療日 / 担当医表

		月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜
外科	午前	大島 / 前島	大島 / 前島	大島 / 前島	大島 / 前島	大島 / 前島	大島 / 前島 ※手術で休診の場合あり
	午後	戸塚				戸塚	
内科	午前	川崎	川崎	田中	矢花	田中	第1:矢花 第1・4:川崎 第3・5:田中
	午後	田中	矢花	矢花	川崎	田中	
循環器内科	午前	後平	後平		山崎 (札幌東)	後平 ※第4休診	
	午後		森川 (出張医)				
整形外科	午前			金城 ※第3休診			
	午後					佐藤 ※第4休診	

受付時間 平 日 【午前】8:30～11:30(診療開始 9:00) 【午後】13:00～16:30(診療開始 13:00)
土曜日 【午前】8:30～11:30(診療開始 9:00)

※土曜午後、日曜、祝日休診

外科の火・木曜は手術が入った場合、待ち時間が長くなる可能性があります。各診療科の休診・代診情報はウェブサイトをご確認ください。



医療公開講座のお知らせ

当院では毎週金曜日に医療講座を開催しています。

入場無料・予約不要ですので、お気軽にご参加ください。

場 所

札幌外科記念病院リハビリ室

※ 終了後に医療相談を受け付けます。お気軽にご相談ください。

※ ご来場の際は、不織布マスクの着用をお願いいたします。

※ 講師の都合等で、講演開催中止の判断をする場合がございます。

お問い合わせ

医療法人徳洲会 札幌外科記念病院(総務課)

TEL:011-563-0151

医療法人徳洲会 札幌外科記念病院

〒064-0923 札幌市中央区南23条西15丁目

TEL:011-563-0151



WEB SITE

市電 札幌市電(路面電車)「電車事業所前」下車、徒歩約5分

バス じょうてつバス真駒内線「南23条西15丁目」下車すぐ
じょうてつバス定山溪線「南21条西11丁目」下車、徒歩約15分

お車 札幌市電「電車事業所前」停留所南、福住桑園通沿い
駐車場は30台駐車可能

